



## 2026年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月14日

上場会社名 日創グループ株式会社 上場取引所 東福  
 コード番号 3440 URL <https://www.nissogroup.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR・SR部長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-555-2825  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有(個人投資家・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年8月期第1四半期の連結業績 (2025年9月1日～2025年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA※		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年8月期第1四半期	百万円 5,516	% △1.8	百万円 293	% △23.7	百万円 540	% △2.2	百万円 315	% △20.3	百万円 141	% △41.5
2025年8月期第1四半期	5,620	51.0	384	13.2	552	20.2	395	8.1	241	△7.9

(注) 包括利益 2026年8月期第1四半期 147百万円 (△39.0%) 2025年8月期第1四半期 241百万円 (△7.8%)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年8月期第1四半期	22.01	—	—
2025年8月期第1四半期	36.93	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年8月期第1四半期	百万円 26,447	百万円 12,538	% 47.4
2025年8月期	26,948	12,648	46.9

(参考) 自己資本 2026年8月期第1四半期 12,538百万円 2025年8月期 12,648百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 40.00
2026年8月期	—	—	—	—	—
2026年8月期(予想)	0.00	—	—	42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年8月期の連結業績予想 (2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA※		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
第2四半期(累計)	百万円 11,400	% △6.5	百万円 450	% △47.8	百万円 950	% △22.5	百万円 440	% △50.0	百万円 260	% △66.1
通期	23,600	2.4	900	△35.0	1,941	△9.5	890	△36.5	520	△43.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |    |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ：無 |
| ④ 修正再表示              | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期 1Q	6,832,500株	2025年8月期	6,832,500株
② 期末自己株式数	2026年8月期 1Q	411,736株	2025年8月期	411,736株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年8月期 1Q	6,420,764株	2025年8月期 1Q	6,554,264株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
3. 補足情報 .....	10
生産、受注及び販売の実績 .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、米国の通商政策が自動車産業を中心に影響を及ぼすなど不確実性を抱えつつも、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復基調が続きました。

一方で、物価上昇の継続が個人消費に与える影響や、米国の通商政策に起因する海外景気の下振れリスク、金融資本市場の変動など、景気を下押しする要因も残されており、依然として先行き不透明な状況となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、金属加工事業においてデータセンター関連案件が好調に推移しました。また、化成品事業において前連結会計年度のM&Aにより子会社化した大鳳株式会社及び株式会社泉製作所の業績が期首から加わりましたが、建設事業において大型工事が集中し進捗水準が高かった前期の反動の影響を受け、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,516百万円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益は293百万円（同23.7%減）、EBITDA540百万円（同2.2%減）、経常利益は315百万円（同20.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は141百万円（同41.5%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (金属加工事業)

データセンター関連案件は好調に推移しましたが、太陽電池アレイ支持架台及び金属サンドイッチパネルが減少し、売上高は1,911百万円（前年同四半期比5.1%減）、セグメント利益は129百万円（同54.2%減）となりました。なお、受注高は1,069百万円（同25.2%減）、受注残高は2,317百万円（同6.2%増）となりました。

#### (化成品事業)

前連結会計年度においてM&Aにより子会社化した大鳳株式会社及び株式会社泉製作所の業績が期首から加わり、売上高は1,265百万円（前年同四半期比428.6%増）、セグメント利益は90百万円（同485.0%増）となりました。なお、受注高は1,263百万円（同420.3%増）、受注残高は275百万円（同3.7%増）となりました。

#### (建設事業)

大型工事が集中し進捗水準が高かった前期の反動により、売上高は1,044百万円（前年同四半期比46.6%減）、セグメント利益は66百万円（同68.8%減）となりました。なお、受注高は1,272百万円（同16.8%増）、受注残高は1,512百万円（同61.7%減）となりました。

#### (タイル事業)

新商品及び自社湿式タイルのPR活動に積極的に取り組みましたが、住宅需要が全国的に減少している影響を受け、売上高は1,134百万円（前年同四半期比9.9%減）、セグメント利益は7百万円（同75.4%減）となりました。なお、受注高は1,420百万円（同26.6%増）、受注残高は1,130百万円（同21.6%増）となりました。

#### (その他)

売上高は153百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント損失は68百万円（前年同四半期は31百万円のセグメント損失）となりました。なお、受注高は172百万円（同21.3%増）、受注残高は39百万円（同3.3%減）となりました。

(注) セグメント利益又は損失の合計額と営業利益との差異67百万円は、主として各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用であります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は15,500百万円となり、前連結会計年度末に比べ332百万円減少いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が352百万円、電子記録債権が225百万円それぞれ増加し、現金及び預金が754百万円、商品及び製品が186百万円それぞれ減少したことによるものであります。また、固定資産は10,947百万円となり、前連結会計年度末に比べ168百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が204百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は26,447百万円となり、前連結会計年度末に比べ500百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は8,397百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が125百万円、短期借入金が100百万円、賞与引当金が101百万円それぞれ増加し、1年内返済予定の長期借入金が144百万円、未払法人税等が406百万円それぞれ減少したことによるものであります。また、固定負債は5,511百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が204百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は13,908百万円となり、前連結会計年度末に比べ390百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は12,538百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益141百万円の計上及び剰余金の配当256百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は47.4%（前連結会計年度末は46.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月15日に公表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,752	6,997
受取手形、売掛金及び契約資産	3,794	4,146
電子記録債権	1,169	1,394
商品及び製品	1,410	1,223
仕掛品	584	631
未成工事支出金	70	13
原材料及び貯蔵品	762	751
関係会社短期貸付金	130	210
その他	166	167
貸倒引当金	△9	△35
流動資産合計	15,832	15,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,538	2,510
機械装置及び運搬具（純額）	1,693	1,641
土地	3,025	2,897
リース資産（純額）	94	92
建設仮勘定	24	26
その他（純額）	95	97
有形固定資産合計	7,471	7,266
無形固定資産		
のれん	2,059	1,987
その他	96	227
無形固定資産合計	2,155	2,214
投資その他の資産		
投資有価証券	991	1,002
その他	512	503
貸倒引当金	△13	△40
投資その他の資産合計	1,489	1,465
固定資産合計	11,116	10,947
資産合計	26,948	26,447

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,106	1,232
工事未払金	159	189
短期借入金	4,150	4,250
1年内返済予定の長期借入金	1,093	948
未払法人税等	529	123
賞与引当金	165	266
その他	1,411	1,387
流動負債合計	8,615	8,397
<b>固定負債</b>		
長期借入金	4,849	4,645
退職給付に係る負債	175	185
資産除去債務	308	308
その他	350	372
固定負債合計	5,683	5,511
<b>負債合計</b>	14,299	13,908
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,190	1,190
資本剰余金	1,110	1,110
利益剰余金	10,672	10,557
自己株式	△345	△345
株主資本合計	12,629	12,514
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	18	24
その他の包括利益累計額合計	18	24
<b>純資産合計</b>	12,648	12,538
<b>負債純資産合計</b>	26,948	26,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
売上高	5,620	5,516
売上原価	4,296	4,048
売上総利益	1,324	1,467
販売費及び一般管理費	940	1,174
営業利益	384	293
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	1	4
受取保険金	0	16
その他	24	26
営業外収益合計	26	48
営業外費用		
支払利息	13	26
その他	1	0
営業外費用合計	14	26
経常利益	395	315
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	396	316
法人税、住民税及び事業税	94	119
法人税等調整額	59	55
法人税等合計	154	175
四半期純利益	241	141
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	241	141

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	241	141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	5
その他の包括利益合計	△0	5
四半期包括利益	241	147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241	147
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	146百万円	175百万円
のれんの償却額	22	71

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年9月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属加工事業	化成品事業	建設事業	タイル事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	2,013	239	1,955	1,258	5,467	152	5,620	—	5,620
その他の収益	0	—	—	—	0	—	0	—	0
外部顧客への売上高	2,013	239	1,955	1,258	5,468	152	5,620	—	5,620
セグメント間の内部売上高 又は振替高	418	0	—	0	418	5	424	△424	—
計	2,432	239	1,955	1,258	5,886	158	6,045	△424	5,620
セグメント利益又は損失(△)	282	15	212	31	540	△31	509	△124	384

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ものづくりWEBサービス、システム受託開発及び木材加工を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△124百万円は、セグメント間取引消去13百万円、子会社株式の取得関連費用△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「化成品事業」において、大鳳株式会社及びフォームテックス株式会社が連結子会社となったことに伴い、当第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては347百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

当第1四半期連結会計期間より、大鳳株式会社及びフォームテックス株式会社が連結子会社となったことに伴い、報告セグメントの名称を「ゴム加工事業」から「化成品事業」に変更しております。この変更がセグメント情報に与える影響はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年9月1日 至 2025年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属加工事業	化成品事業	建設事業	タイル事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	1,911	1,265	1,044	1,134	5,356	153	5,510	6	5,516
その他の収益	0	—	—	—	0	—	0	—	0
外部顧客への売上高	1,911	1,265	1,044	1,134	5,356	153	5,510	6	5,516
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69	0	—	0	70	2	73	△73	—
計	1,981	1,266	1,044	1,135	5,427	156	5,583	△67	5,516
セグメント利益又は損失 (△)	129	90	66	7	293	△68	225	67	293

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材加工・販売、住宅設備機器の企画・EC販売、ものづくりWEBサービス、システム受託開発を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額67百万円は、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用54百万円であります。全社収益は主に各グループ会社からの経営管理料収入であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

### 3. 補足情報

#### 生産、受注及び販売の実績

##### ①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
金属加工事業	1,169	61.9
化成品事業	361	243.0
タイル事業	197	84.6
合計	1,728	76.1

(注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値であります。

2. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。

##### ②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)			
	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
金属加工事業	1,069	74.8	2,317	106.2
化成品事業	1,263	520.3	275	103.7
建設事業	1,272	116.8	1,512	38.3
タイル事業	1,420	126.6	1,130	121.6
その他	172	121.3	39	96.7
合計	5,197	123.6	5,276	71.6

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)	
	金額（百万円）	前年同四半期比（%）
金属加工事業	1,911	94.9
化成品事業	1,265	528.6
建設事業	1,044	53.4
タイル事業	1,134	90.1
その他	153	100.9
全社・消去	6	—
合計	5,516	98.2

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)	
	金額（百万円）	割合（%）	金額（百万円）	割合（%）
株式会社大林組	979	17.43	—	—

当第1四半期連結累計期間の株式会社大林組については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。